

重症熱性血小板減少症候群 **SFTS** が発生しています。

浜松市内でSFTSに感染した猫が3件確認されました。
静岡県中部で県内で初めて患者が発生しました。
感染源として動物との接触が疑われています。
(令和3年3月現在)



病気の特徴(症状)

SFTSウイルスを原因とする人と動物の共通伝染病です。

人の主な症状は、発熱、全身倦怠感、消化器症状です。重症化すると、死亡することもあり、**患者の約30%※が亡くなっています**。特に、**高齢者では重症化しやすい**と考えられています。

犬や猫等の動物では発熱、食欲不振の症状がみられ、発症した猫の**約70%※が死亡**しています。

※厚生労働省重症熱性血小板減少症候群(SFTS)に関するQ&Aより

人への感染経路・感染状況

感染したマダニに咬まれたり、発症している動物の**排泄物や体液に接触**することで感染します。

感染猫からの**咬傷や接触**による、飼育者や動物病院従事者の**感染例**もあります。



マダニ



予 防

マダニに咬まれないよう、草むらや藪などに入る場合には、**肌の露出を少なくし**、マダニに効く虫除け剤を使用してください。

感染した猫の糞尿や唾液からの感染例もあります。

野良猫を扱う時には、手袋を着用し、フェイスガードやマスク・ゴーグル等で目と鼻を保護してください。

